

平成28年3月1日

日本学術振興会
プロセスシステム工学第143委員会
委員長 平尾 雅彦

プロセスシステム工学第143委員会
第206回委員会・平成28年度第1回研究会 開催通知
(143委員会ホームページ <http://www.pse143.org/>)

1. 日 時：2016年5月20日（金）13:00～21日（土）12:00

2. 場 所：晴海グランドホテル
(〒104-0053 東京都中央区晴海 3-8-1 TEL 03-3533-7111)
交通：都営地下鉄大江戸線勝どき駅から徒歩7分
都営バス晴海三丁目バス停から徒歩2分
晴海トリトンスクエアから徒歩2分
<http://www.maxpart.co.jp/harumi/>
宿泊：晴海グランドホテル（朝食付き）

3. 委員会：5月20日（金）13:00～13:15

4. 研究会：

テーマ：(続) 産学間のマッチング

143委員会は、これまで、日本におけるプロセスシステム工学の産学連携の場として、関連する技術を牽引してきました。この活動をさらに強化するため、昨年度は、学側メンバーより、各自の研究に関わるアイデア・方法論・技術をポスターにて発表し議論しました。そこで、今回は、産側メンバーより、各社で抱えているPSE周辺の課題をお伝えいただき議論することとしました。学側委員今後も143委員会が産学連携の場を委員の皆様提供するために、胸襟を開いてお互いのニーズとシーズを出し合いそれらマッチングについて徹底的に議論します。

スケジュール：

<1日目> 5月20日（金）

13:15 ～ 14:00 講演1「重大事故防止のための保安管理」

松山 久義 委員（九州大学）

1973年に石油化学・石油精製プラントの重大事故が多発して以来、石油化学・石油精製各社は正常運転中の設備故障と誤操作の防止を通じて保安事故防止に取り組んで来た。特に1986年に発足した認定保安検査実施者制度は、連続運転というインセンティブを与えることにより企業が設備管理に人材と資金を投入するよう誘導することに成功し、設備管理に起因する重大事故は皆無となっている。しかし、2011年以降に発生した4件の重大事故の内2件は、設備管理レベルが高いと認定された事業所で発生したものであり、2011年発生の事故は保安設備の誤作動、2012年発生の事故は外乱（他プラントの異常）を引金事象とした緊急事態

への対応を誤ったことによる事故であり、正常運転中の設備故障と誤操作を防止しただけでは保安事故を防止できないことを我々に再認識させた。保安事故防止のためには正常運転中の設備故障と誤操作の防止以外に何が必要なかをプロセスシステム工学的に解析した結果を事件事例と共に示す。

14:00 ～ 14:45 講演 2 「これからの PSE ー第 9 期活動に向けて」

山下 善之 委員 (東京農工大学)

プロセスシステム工学第 1 4 3 委員会は、5 月で第 8 期を終え 6 月より新体制の下で第 9 期として再スタートする。この機に、これからのプロセスシステム工学が取り組むべき課題とその解決に向けたアプローチについて私見を述べ、議論の契機としたい。

15:00 ～ 15:05 研究会主旨・スケジュール説明 (担当幹事)

15:05 ～ 16:00 ショートプレゼンテーション

産側委員よりポスターの概要を紹介する。(3～4 分/社)

16:00 ～ 17:30 ポスターセッション 1

準備 (20 分), ポスター発表 (70 分)

17:30 ～ 19:30 チェックイン/夕食・意見交換会

19:30 ～ 20:30 ポスターセッション 2

ポスター発表 (45 分), 片付け・移動 (15 分)

20:30 ～ 22:00 グループディスカッション 1

※産側委員のポスター内容により予めグループ分けをし、

学側委員は自由にグループを移動できる形を予定しています。

<2 日目> 5 月 2 1 日 (土)

09:00 ～ 10:00 グループディスカッション 2

10:00 ～ 10:00 各グループからの報告

11:00 ～ 12:00 学側委員からのコメント

総合討議

5. 申し込み方法

宿泊予約の有無にかかわらず、参加申込みは 4 月 1 5 日 (金) までに下記のホームページからご登録をお願いします。

<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=lgma-phobq-1cb47232aedc896c3e9ca9d2af743dff>

当日、宿泊費・意見交換会費として 15,000 円を、意見交換会費のみの場合は 5,000 円申し受けます。なお、金額は予定であり参加人数により増減することがございます。1 日目の 1 2 時 3 0 分から受付を開始します。

お申し込み後に急な変更などございましたら、

日本学術振興会 中村郁子 (E-mail : jigyouka04@jsps.go.jp, Tel:03-3263-1728),

および庶務幹事 (E-mail : admin@pse143.org)

までご連絡下さい。

◆産側委員

- ・今回は産側委員によるポスター発表を行います。今回の研究会における講演にとらわれること無く、広く、各社の研究、技術、課題、教育などのいずれかに関するもので143委員会にて議論出来そうな内容をポスターにまとめ、当日ご持参ください。ポスターの大きさは、原則A0サイズ(W841mm×H1189mm)以内とします。なお、展示会等で用いたポスターをそのまま使われても構いませんし、多少古くても構いません。また、新たに作られる場合には、提出原稿からのポスター印刷サービスも行います(形式は自由、印刷代は委員会負担)。希望者は締め切りまでに原稿をご提出ください。印刷したポスターは当日会場にてお渡します。ポスターは研究会終了後お持ち帰りいただけます。
- ・ポスターセッション前にショートプレゼンテーションにて、1人当たり3~4分でポスター発表内容の概要を紹介していただきます。パワーポイントなどのスライドをご準備ください。
- ・ポスター原稿(pdfまたはパワーポイント)を4月15日(金)までに庶務幹事(E-mail: admin@pse143.org)までお送りください。提出原稿は、A4に縮小して当日配布資料といたします。

◆学側委員

- ・学側委員には、全員、ポスターについてのコメントをお願いします。
- ・2日目に、コメントを各自発表してもらいます。
- ・また、別途、詳細なコメントを、後日、回収します。

申 込 締 切	: 4月15日(金)	←全委員
ポスター原稿締切	: 4月22日(金)	←ポスター印刷サービスを利用される産側委員
配付資料原稿締切	: 5月6日(金)	←ポスター印刷サービスを利用されない産側委員